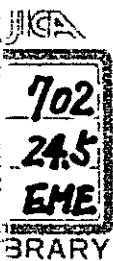


奥地集団移住地における 国語教育年間指導計画(案)

—1、2学年用、ボリヴィア国サンファン移住地—

国際協力事業団



はじめに

移住者弟子教育対策の一環としてボリヴィア、アルゼンティン、パラグアイ及びドミニカ共和国に日本語指導教師を昭和46年より長期に、またブラジルにおいては昭和53年より巡回指導教師を短期派遣し、現地日本語学校の教師及び学童の指導にあたってきた。

このたび、これら指導教師がボリヴィア共和国サンタクルス市にて奥地集団移住地（サンファン移住地）における日本語教育の年間指導計画とそれに付随する教材のとりまとめを行なった。

本資料は、奥地集団移住地のみならず、これまで不備であった各現地日本語学校で、年間指導計画を作成する上での一つのモデルとなるものである。一方、本資料そのものは未完であり、今後の実践活用を通じ、改訂が重ねられるとともに、各日本語学校の実情に沿った年間指導計画の作成に活用されることを期待する。

関係者各位のご協力を切にお願いする。

国際協力事業団

移住事業部長 西野世界

国際協力事業団		
受入 月日	61.8.07	702
登録 No.	15129	24.5
		EME

教科等 月	国語 光村版-(昭和57年度) 1年生					ことばのほん	かきかた
	課題	時間	目 標	指 導 内 容	備 考		
2	上 なかよしのき	12	<ul style="list-style-type: none"> 絵や文から想像したことを話し合い、物語を完成していく中で豊かな言語経験と、日本語に対する関心を深めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て話すようにさせる。 はっきりした発音、口形で、音読させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話をよく聞く、態度の指導に留意する。とくにことばの本と併用し、語いをふやすこと。 	生活のことば ×2 勉強食事用語 ×2 かるた ×2	P1×1時間 せんあそび P2×2 たまごのせん 「つの」
3	ともだち	8	<ul style="list-style-type: none"> 語や文を通して、個と集団の意識をもち、より広く深い人間関係を作ることができるようにする。 主語と述語の整った文に気づいて、正しく読むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> はっきりした発音で読ませる。 次の文型をとらえさせる。 存在文……がある。……がいる。 ～の～ ～が～をする。 主語+目的・修飾文+述語文 		P6×2 なんですか これはなに	P3×2 よいしせいと えんびつのも ちかた 「くし」(くつ、て)
	わたしとぼく	7	<ul style="list-style-type: none"> 自己と他の関係を表す言葉を理解することによって、自他の認識をはっきり持ち人間関係を広げることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の呼び名を正しく理解させる。 次の人間関係を理解し表現させる。 兄、姉、弟、妹等 長音について正確に発音させる。 		P7×2 これはなんですか。 補充×2	P4×2 よいしせいと えんびつのも ちかた 「いす」(うし、つくえ)
	はなのみち	2	<ul style="list-style-type: none"> 人物の行動を追いながら音読し、場面を対比して話のすじが読みとれると同時に童話を楽しんで読むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人物の行動を理解させる。 さし絵を見ながらくまさんのしたことを順序よく話させる。 主述、修飾語の整った文に気付かせる。 句読点や促音に注意して、視写させる。 「 」のつかいかたを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あいうえお」の五十音の構成を知って平仮名が正しく読み書きできるようにする。 	聴写×2	
	せんせいあのね	2	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことを、はっきりした発音や丁寧なことばで話すことができるようにする。 友だちの話の内容を正し 	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を理解させる。 丁寧なことばと普通のことばのちがいをわからせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文を作ることは、ことばの本で取り扱う。 「せんせい」 	P8×2 これ、それ、あれ、どれ	P5×1 「ことり」 (ぬりえ、ねこ)

教科等 月	国 語 光村版-(昭和57年度) 1 年 生					ことばのほん	かきかた
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
4			く聞きとり、自分の話す時の参考にすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 物音、物長音の正しい読み方と正しい表記のしかたを理解させる。 	「おおきい」の表記に留意すること。	P 9 × 2 2 なんですか どうぶつにひろげる	P 6 × 2 かきじゅん 「けいと、かに」 (せみ、はち)
	しっぽのやくめ	8	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な説明文の型をおさえ、絵と合わせながら書かれている内容を読みとることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を絵と結びつけて理解させる。 はっきりと音読させる。 助詞、は、へ、を、のつかいかたをわからせる。 		補充 × 1 聴写 × 1	
	あそんだときのこと	2	<ul style="list-style-type: none"> 遊んだときのことを書いた作文を読んで「いつ、どこで、何を」おさえた主述の整った文章を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文と文と続けて文章を書くことをわからせる。 スリーセンテンスの口頭作文に表わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの話すことを教師が板書し文字で表わす。 		
	おさるがふねをかきました	2	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や情景のおもしろさを味わいながら、リズムに合わせてはっきりと音読できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面のようにわかるようにはっきりした音読をさせる。 全文を視写させる。 	<ul style="list-style-type: none"> できれば暗唱させる。 		
5	おおきなかぶ	9	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しのおもしろさや人物の動きのおもしろさをさし絵と合わせて想像しながら、はっきりした発音で音読することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 反復の場面のようすをわからせる。 はっきりした発音で音読させる。 「 」の使い方がわかり、読みの工夫をさせる。 敬体の文章をわからせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動作化をしておじいさんや、おばあさんなどの気持をわからせる。 	P 10 × 2 3 なんですか やさい P 11 × 2 4 なんですかのりもの 〇〇と〇〇です。	P 7 × 2 かきじゅん 「ないふ、たぬき」 (さか)
	えとさくぶん	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分がしたことや、読んだ本のことなどから書くことを見付け、文と文のつながりを考えながら書いたまとまりのある文章を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> えとさくぶんを結びつことをわからせる。 助詞の使い方に留意させる。 視写させる。 			P 8 × 2 かきじゅん 「あおいそら、しろいくも」
	おむすびころりん	8	<ul style="list-style-type: none"> お話の筋や人物の様子を思い浮かべながら、はっきりとした発音で音読できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> お話の筋や人物などの場面の様子を読みとらせる。 漢字の読み書き、文字や語句、「 」の使いかたをわからせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めての漢字練習なので読み、字形、筆順、使い方などを練習させる。 	補充 × 2 聴・視写 × 2	

教科等 月	国 語 光村版一(昭和57年度) 1 年 生					ことばのほん	かきかた
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
6	かんじのべんきょう	8	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の持つ性質に気づき、漢字を正しく読んだり、書いたりすることができるようにする。 漢字を正しく使って、文を書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの漢字が絵からできていることをわからせ、聴写や視写によって理解させる。 発音や筆順に気をつけて、一から十までの漢数字を正しく読んだり書いたりさせる。 		P.12×2 5なんですか いろ 「はい。そうです」 P.13×2 れんしゅう1	P.9×2 かきじゅん 「えうのて」 「あいうえお」
	のりものあそび	19	<ul style="list-style-type: none"> 説明文を読んで知識や情報を整理することができる。 電車ごっこ遊びを通して、幅広い言語活動が展開できるようにする。 電車ごっこについて話し合わせ、協力して、電車ごっこをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの自動車の仕事と造りの特徴を表現に即して細かく読みとらせる。 片仮名を読むことができるようにさせる。 		P.14×2 ひらがな50音 P.15×2 だれですか (1)だれ 補充×2	P.10×2 じのかたち P.18×1
8	くじらぐも	10	<ul style="list-style-type: none"> 場面ごとの様子を思い浮かべながら、はっきりした声で音読することができるようにする。 語句の意味を正しくとらえ、その使い方を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> くじらぐもと子供たちの呼応する様子を書いた内容を読み取らせる。 はっきりした発音で音読させる。 視写、聴写させる。 「……も」の使い方留意させる。 		P.16×2 (1)だれですか (2)だれとだれ P.17×2 ○○の○○です。	P.11×2 じのかたち 「さしすせそ」 (すな、せみ、そら)
	ころちゃんしゃぼんだま	2	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことの中から心に残っている事柄を選んで詩的表現で書いた短い作文を読むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中におもしろい事柄があることを気付かせる。 聴写、視写をさせる。 		補充×2 P.18×2 11.だれのものですか。	P.12×2 にているところのある字 「にけ、さき、るる、めぬ」
	もののなまえ	10	<ul style="list-style-type: none"> 物の名前を上位概念語と下位概念語に整理し、それぞれの関係をしっかりとらえるとともに、文字や語句への関心を高めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つの名前とひとまとまりの名前の両方があることをわからせる。 いろいろの物の名前を集めさせる。 助詞「は、へ、を」の使い方に慣れさせる。 			
9							

教科等 月	国 語 光村版-(昭和57年度) 1 年 生					ことばのほん	か き か た へ
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
9	たぬきの糸車	10	<ul style="list-style-type: none"> 人物の動作や表情などに気を付け、場面の様子を想像しながら、読むことができるようにする。 人物の様子のよくわかるところを視写し、かわいらしい様子の書き表し方に気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人物の姿、かっこう等場面の様子を順序どおりにとらえさせる。 人物の様子の視察や聴写をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字や語句の使い方に注意させる。 	P.19×2 12れんしゅう その2 P.20×2 13かぞえま しゅう。 補充×2	P.13×2 ちいさく書く 字 だくてん P.14×2 じのかたち おれ、まがり、 おりかえし 「み、と、ん」
	きのりのこと	3	<ul style="list-style-type: none"> 昨日したことの中からいちばん書きたいことを選び、したことの順序をたどって、様子がよく分かるように書くことがわかるようにする。 カレンダー作りを通して文字を書く楽しさを知り、文の中で漢字を適切に使うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> いちばん知らせたいことを書いた友だちの作文の表現の良さを分らせる。 記号の使い方を分からせる。 カレンダーの使い方を読みとらせる。 漢字を使ってカレンダーを作らせる。 	P.21×2 かぞえまし う。 その2		
	カレンダーづくり	2 2					
10	チックとタック	9	<ul style="list-style-type: none"> 人物が心の中で思ったことを中心に場面の様子をとらえながら読み、おもしろいところを見付け出すことができるようにする。 心内語を交えながら展開していく話の進め方に気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> チックタックおじさんの行動をわからせ動作化させる。 心内語の書き表し方を分からせる。 簡単な感想をもつことができるようにさせる。 擬声語、擬態語の意味を分からせる。 		P.22×2 14かぞえま しゅう。 その3 P.23×2 15どこですか 補充×4	P.15×2 まがいやす いかきじゅん 「せとなぬま やわれにた」 P.16×1 むすびとせん のかたむき P.17×1 。「」
	どうぶつの赤ちゃん	12	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの動物の赤ちゃんの様子や特徴を比較しながら読み、書かれている事柄を読み取ることができるようにする。 「じぶんでは」「じぶんで」の肯定、否定の表現に気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの赤ちゃんについて生まれたばかりの様子と大きくなっていく様子を読み取らせる。 肯定、否定の二つの提示文をもとに三つの動物の成長を読み取らせる。 語句の意味や使い方を理解させる。 			
	うちの人のこと	3	<ul style="list-style-type: none"> 家族のことについて順序をたどりながら書かれたある程度長い作文を読む 	<ul style="list-style-type: none"> どんなことをどんな順序で書いたかを分からせる。 			

教科等 月	国 語 光村出版—(昭和57年度) 1 年 生					ことはのほん	かきかた
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
			ことができるようにする。	○修飾語・比喻・かぎなどの使い方を分からせる。			
11						P.24×2 15どこですか その2 補充×2	P.19×2 かきぞめ
12	花いっば (一) いになあれ ほかのふうせんは (二)	19	○場面のようなすや人物の気持ちに気をつけながら話を読んだり、自分たちで話を作ったりして楽しいお話の世界にひたることができるようにする。 ○場面の移り変わりの順序、様子を表す言葉に注意して、読んだり書いたりすることができるようにする。	○風船をコンがどう思ったのか読み取らせる。 ○順序に従ってようすや、コンの気持ちの変化を読み取らせる。 ○ほかの「ふうせんは」を読ませ、共同や個人でお話作りをさせる。	○すじ書きを短い文で書いてもよい。	P.25×2 どこにありますか。 補充×2	P.20×2 50おんのみとめ
		175				70	35

教科等 月	国語 光村版-(昭和57年度) 2年生					ことばのほん	かきかた
	題目	時間	目 標	指 導 内 容	備 考		
2	上 春の予もり歌	7	<ul style="list-style-type: none"> ○反復される場面の移り変わりに気をつけて人物の様子がわかるように音読できるようにする。 ○お話の展開の仕方に気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ねずみのおかあさんや猫のおかあさんなどの気持ちや様子を考えながらゆっくり音読させる。 ○あたたかく静かな情景をわからせ母のやさしさを感じとらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の春とボリビアの春のちがいについて補説することが必要である。 ○新出文字の指導が必要である。 	P.26×2 どんなりんごですか。	P.1×1時間 よいしせいとえんびつのもちかた せんのとめかたれんしゅう
	(一) 春をみつ ける (二) 二年生に なった	2	<ul style="list-style-type: none"> ○「春になって気付いたこと」や「二年生になって思ったこと」の中から書くことを見つけ、二文ぐらいの短文にすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心情が表現されている一文をえらばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本とボリビアの季節のちがいについて補説する必要がある。 	P.27×2 その2 補充×2	P.2×2 えんびつのはこひかた とめ、はね、はらい
	作文ノート	1	<ul style="list-style-type: none"> ○作文ノートを作り、日常的に気のついたこと、心に残ったことを書きとることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メモをとることができるようにさせる。 			
	お り む あかいカーテン カラスのかお	4	<ul style="list-style-type: none"> ○詩の表現の特徴や言葉のリズムに気を付けて音読し、情景を豊かに想像することかできるようにする。 ○全文を視写し、詩の表現の特徴を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情景や「わたし」の気持ちを想像させて音読させる。 ○聴写させて詩の表現を確実にとらえさせる。 			
3	空いろのたね	8	<ul style="list-style-type: none"> ○場面のくり返しに気をつけ、人物の言動や場面の様子がわかるように音読できるようにする。 ○様子を表す言葉に気をつけて視写することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家が大きくなっていく様子、それにつれて入るものが次第に大きいものになっていくことに気づかせる。 ○人、鳥、動物の数え方を理解させる。 ○言動を表すことばに気づかせる。 		P.28×4 いくらですか。 P.29×2 れんしゅう3 P.30×2 なんようひですか。	P.3×2 よいしせい 「日、口、七花、ふ、学」 おれ、まがり、そり P.4×2 よいしせい 「レモン、ノート」
	文を作りましよう	8	<ul style="list-style-type: none"> ○修飾語のある文、名詞文、主述の整った文、さまざまな助詞を含んだ文など、絵を見ながら指示に従っていろいろな文を作ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文作りの法則を理解させ生かして使うことができるようにさせる。 ・修飾語の使い方 ・主語述語の関係 ・文と文の続き方 ・助詞の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の道具で発表させるように留意する。 		

教科等 月	国語 光村版-(昭和57年度) 2年生					ことのはほん	かきかた
	題目	時間	目標	指導内容	備考		
4	かえるのくらし たんぽぽのちえ	12	<ul style="list-style-type: none"> ○順序を示す言葉に気をつけ、事柄の現象と原因を叙述に即して正しく読みとることができるようにする。 ○「…ます」「…」の「す」に気をつけて文章を視写し、事象と原因を表す文表現を理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間的順序に気をつけて、読みとらせる。 ○事実と理由を示す言葉に気をつけて読ませる。 ○指示語や接続語の役割と使い方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本とポリアについて地理的、気象的条件の違いについて、補説する必要はある。 	P.31×2 カレンター P.32×2 れんじゅう4 P.33×2 おてんき	P.5×2 かたちのにた 字 ノンノテ チ P.6×1 かたちとかき じゅん 「ルール、オ クタイ」
	すきな生きもの のこと	2	<ul style="list-style-type: none"> ○対象となる生き物の様子をよく見て、見つけたこと、気づいたことを整理し、順序を整えてよくわかるように、話すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○経験したことや順序どおりに話させる。 ○話の内容を正しく聞きとらせる。 			
5	海をあけるよ	10	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の情景や人物の気持ちの変化を考えながら、お話を読むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○印象付けられた表現を視写させ、音読させる。 ○わたるの気持ちか、どう変化したかを読みとらせる。 ○海の美しい様子を読みとらせ、かえるたちの気持ちを想像させる。 		P.34×2 たのしいにち ようひ	P.7×2 とめ、はね、 はら ト、ナ、ケ
	かたかなで書 くことは	2	<ul style="list-style-type: none"> ○片仮名で書くことは理解し、字形や筆順に気をつけながら、片仮名の言語を書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カタカナの使い方をわからせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本における外来語と、外国語(オリアではスペイン語)とのちがいについて、補説する必要がある。 	P.35×2 れんじゅう5	
	スイミー	9	<ul style="list-style-type: none"> ○情景描写や人物の言動を表す表現に気をつけながら、人物の気持ちを考え、読むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○五つの場面におけ、話の展開をとらえさせる。 ○比喩表現、倒置法、名詞止めなどの効果的な表現方法に気づかせる。 			P.36×2 いろいろのく に
かん字のたかま	3	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字を季節、色など類縁で、まとめて覚えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○方角、色、季節、身体、家族、学科、動物などひとまとめにして書かせる。 			P.37×2 どこにすんで いますか。	

教科等 月	国 語 光村版-(昭和57年度) 2 年 生					ことばのほん	かきかた
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
6	人形のうごき方	10	<ul style="list-style-type: none"> 人形は人間の動き方に似るように工夫されていることを読みとって、工夫の大切さを知り、自分たちも工夫して紙人形げきを楽しむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間と人形の動きの違いを、正しく読みとらせる。 		P.38×2 どちらがたかいですか。 P.39×2 どちらがすぎですか。	P.9×2 かきじゅん 「ウネヲヒカノツツス」
	紙人形げきをしましょう	9	<ul style="list-style-type: none"> 様子を表すことはやせりふを考えて、お話づくりをし、劇をするときには、せりふをはっきりいうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで教材文を参考にして、人形を作らせる。 即興的に会話を入れ、紙人形劇を練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発展として、「うさぎとかめ」など他の人形を作って実演させることが望ましい。 		
7	下 お 手 紙	12	<ul style="list-style-type: none"> 時間的な順序や場面の移り変わりを考えながら読み、場面の様子をとらえたり、人物の心の触れ合いをとらえたりすることができるようにする。 登場人物に知らせてあげたいことを書いたり、好きなどころを視写したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人物の性格や場面のようなすを読みとらせる。 「 」の使い方に留意し、会話文を視写させる。 		P.40×4 たのしいいちにち 補充×2	P.10×2 かきじゅん P.18×1 たなはた
	音 の 数	2	<ul style="list-style-type: none"> 発音、姿勢、口形に注意して、はっきり話することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 撥音、促音、拗音、長音を含む音の拍の数え方をわからせる。 			
8	目 方	1	<ul style="list-style-type: none"> 書きたいと思う題材をよく見つめ、様子や気持ちが生き生きと伝わるように書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな情景をどのように表現されているかを考え、読みとらせる。 		P.42×2 1年のぎょうじ 補充×4	P.12×1 ややよこながのじかたち P.13×2 てん、かくのつきかたまじわりかた
	い な ず ま	1	<ul style="list-style-type: none"> 擬態語、擬声語、比喻などの効果及び文末表現に注目することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 擬声語、擬態語、比喻などの語句を集めさせる。 			
	「明るい」と合うことは	10	<ul style="list-style-type: none"> 言葉集めをしながら類縁関係の語、対義語を見付け、言葉の類縁関係をとらえることができるようにする。 叙述に即して内容を正しく読みとり、言葉につい 	<ul style="list-style-type: none"> 類縁関係の語、類義語、対義語にあたる語句の意味を理解させる。 様子を表す言葉を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> 類義語音はちがっても意味の似かよっている言葉。あたま、かしら、こう 		

教科等 月	国 語 光村版-(昭和57年度) 2 年 生					ことのはのほん	かきかた
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
8			ての理解を深めることができるようにする。		べ、おつむ ○対義語 語いの一つの形。同一言語内で意味が互いに相反する関係にある語。反対語ともいう。 男女、親子、長い・短い、行く・来るなど。		
	かさこ地ぞう	12	○人物の気持ちの触れ合いをとらえながら読み、民話独特の語り口がわかるようにする。 ○童話の表現との虚いに気付け、句読点に気をつけ、語り口や間のとり方について考えることができるようにする。	○二人の、そのときの気持ちを、表現に即して読みとらせる。 ○五つの場面での二人の心の動きや気持ちを想像させる。	○写真ハオルを利用することが望ましい。	P 43×2 かたかなのま とめ 読み、視写 ×2	P 14×2 つけるところ まじわるところ 「ウオク、ケ タテ」
9	心にのこったこと	3	○作文ノートから心に残っていることを、順序や構想を整えて、書くことができるようにする。	○作文ノートから書きたいことの構想を考えさせる。 ○「さか立ちきょうそう」に書かれている事柄の順序を確認する。		かたかなかる たの作成ノ4	P.15×2 てんやかくの あいたのとり かた 「ソソノソナ」
	はんたいのことは	2	○形容動詞、形容詞について反対の意味をもつ言葉を、考えることができるようにする。	○対義語、類義語の語句の意味をわからせる。 ○言葉集めをさせる。			
10	くまの子ウーフ	11	○人物の考えを手掛りとして、人物の性格、場面の様子を、叙述に即して読みとることができるようにする。 ○主人公について思ったこと、考えたことを順序を整理して、書くことができるようにする。	○ウーフの考えを中心に各場面の様子を読みとらせる。 ○さしえをたどって順序を整理させる。 ○ウーフの思考の過程を追求させる。		おもしろかつ たこと ×2 みじかい文を かく ×2	P.16×2 せんのがさ 「エテニモヌ ス」

教 育 年 月	国 語 光村版 (昭和57年度) 2 年 生					ことばのほん	かきかた
	題 目	時 間	目 標	指 導 内 容	備 考		
10	手のしごと	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事柄の順序や具体例とまとめの関係をとりえて、正しく読みとることができるようにする。 ○ 内容を正しく読みとるために、文中の指示語接続語の役割と使い方を、理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手の仕事を具体的に文章に即して、とらえさせる。 ○ 「この」「その」等の指示語の指す内容を理解させる。 		かたかな 50音×4	P.17×2 短い文を書く (ていねいに)
11	まわりの人のこと	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人のことについて書いた文を読み、書くことの中心を決め、様子や気持ちを詳しく書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書かれている事柄の人筋と、その順序を読みとらせる。 		P.44×4 ちいさくかくじ、のはす音(よう音、はつ音、長音)	P.19×2 かきぞめ 「ことしのめあて」
	かん字の形	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 間違いやすい漢字を正しく書き、文を書くときに進んで使えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ部分を持つ漢字のどこがちがうか考えさせる。 ○ 形の似ている間違いやすい漢字を、正しく使うようにさせる。 			
	スーターの白馬	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場面の様子や登場人物の人柄を読みとると共に、物語中の多様な人物と出会う喜びを味わうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ さし絵と場面を対比させながら読みとらせる。 ○ 人物を対比させながら、人柄を浮き彫りにさせる。 		えにつき×2 補充×2	P.20×2 かたかなのまとめ
12	はーびょう会	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな物語の主人公にあてて手紙を書いたり、おもしろかった部分を絵に書いたりして、みんなで発表しあうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手紙を書く、好きな場面を絵にする、劇、紙芝居、音読等の多様な方法を採り入れ、楽しい発表会にさせる。 ○ 発表の態度、発表の聞き方にも注意させる。 			
		175				70	35

JICA